

報道関係者各位
プレスリリース

2024年11月8日

ドイツワイン 2024年のヴィンテージ

ドイツワイン 2024年のヴィンテージは、非常に多くの人手を要した過酷な年として記憶されるでしょう。



今年は遅霜と大量の降雨に加え、ぶどう収穫期の天候の変化など、ワイナリーは多大な労力と柔軟な取り組みを求められました。結果として、ドイツ全土で素晴らしい品質のぶどうが収穫できたことで、その努力は報われました。

収量には大きな地域差

極端な異常気象の結果、産地やぶどう品種、局所的な気候条件によって収量に大きな差が生じました。収量が例年並みの地域もあれば全損した地域もありますが、総じて予想を大幅に下回りました。

ドイツ全土で790万ヘクトリットルのワイン用マストを生産予定

ドイツワイン・インスティトゥート (DWI) は、ドイツワイン生産者協会の現在の推定では、ドイツ全土で約790万ヘクトリットルのワイン用マストが生産される見通しです。これは、この10年間の平均である880万ヘクトリットルより10%減、前年比で約9%減に相

当します。これほど収量が落ち込んだのは、2017年の750万ヘクトリットル以来です。

特に収量が減少したのは東部

収量の地域差が生じた主な要因は4月の遅霜であり、芽吹いたばかりの若いブドウの樹に深刻な被害をもたらしました。ザクセンとザーレ・ウンストルートの東部は特に大きな被害を受け、前年比で収量が70~73%も減少しました。アール地方のワイン生産者も天候によって収量が約64%も落ち込んでいます。モーゼルでは5月にひょうを伴う大規模な嵐が襲来したため、収量が過去50年間で最低の51万ヘクトリットル前後にとどまる見込みです。

4月の遅霜はライン川やナーエ川沿いの斜面、そしてフランケン地方やヴェルテンベルク地方の大部分にも影響を及ぼしました。そのため、収量はフランケン地方で19%、ヴェルテンベルク地方で25%減少しています。

二大産地の収量は例年並み

ドイツの二大ワイン産地であるラインヘッセンとファルツは遅霜の被害をほとんど受けませんでした。ファルツの収量は前年比マイナス4%とわずかに下回っていますが、ラインヘッセンは前年比プラス7%とやや上回っています。

フルーティーで軽めのミネラル感が楽しめるワイン

今年が多雨はぶどうの生育にも良い影響をもたらしました。たっぷりと潤った土壌から、ぶどうが多量のミネラルを吸収したため、ミネラル感が際立つワインが期待できます。熟すまでに時間がかかったことで、果実味も増しました。

2024年ヴィンテージは、果実味が際立つフレッシュで鮮烈な味わいのワインに仕上がるでしょう。アルコール度数が控えめになるため、今年のワインは総じてやや軽めであり、昨今の需要にぴったりの味わいとなっています。





(2024年10月24日付の状況)

ワイン産地名	推定収量 2024	収量 2023	変動 2023/2024
	hl	hl	%
アール	15,000	42,000	-64
バーデン	1,100,000	1,276,000	-14
フランケン	341,000	419,000	-19
ヘッシッシェ・ ベルクシュトラーク	31,000	33,000	-6
ミッテルライン	19,000	22,000	-14
モーゼル	510,000	724,000	-30
ナーエ	265,000	312,000	-15
ファルツ	2,200,000	2,287,000	-4
ラインガウ	222,000	224,000	-1
ラインヘッセン	2,580,000	2,420,000	7
ザール・ウンストルット	13,000	48,000	-73
ザクセン	9,000	30,000	-70
ヴェルテンベルク	614,000	822,000	-25
合計	7,933,000	8,688,000	-9

出典:ドイツ連邦統計局、DWV 推計

本件に関するお問い合わせ先 : Wines of Germany 日本オフィス PR 担当
TEL: 050-3495-3096
公式ウェブサイト : <https://www.winesofgermany.jp/>